



4月2日にリニューアルオープンした長熊釣堀センター

おもな内容

- ★議案内容と審査結果……………P 2～6
- ★第1回定例会の日程……………P 4
- ★陳情の審査結果……………P 4
- ★主な議案質疑……………P 6～7
- ★議会改革について……………P 7
- ★一般質問……………P 8～13
- ★常任委員会の審査……………P 14～16
- ★議会のうごき……………P 16

第1回定例会の あらまし

平成21年第1回定例会が、3月2日から3月23日までの22日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成21年度各会計予算、平成20年度の各会計補正予算、条例の新規制定や一部改正、人事案件（副市長の選任）など33議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

3月5・9日には一般質問が行われ、11人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

最終日の23日には、委員会から2件の発議案が提出され、原案のとおり可決されました。

平成21年
第1回定例会

平成21年度
一般会計予算二百五十五億五千万円に（前年対比0・1%減）
特別会計・企業会計を含めた予算総額は八百二十五億千六百七十四万二千元

議案の内容と審査結果

当初予算

（平成21年度）

◇議案第1号

平成21年度旭市一般会計予算の議決について（可決）

予算規模は、歳入歳出それぞれ255億5000万円で、前年度比0・1パーセントの減であります。

歳入の主なものは、市税67億5031万5000円、地方交付税76億1000万円、国庫支出金17億5134万8000円、県支出金17億2234万2000円、市債38億1920万円で

す。歳出の主なものは、総務費28億7918万4000円、民生費58億6172万1000円、農林水産業費15億1864万9000円、土木費に33億3118万8000円、消防費18億248万3000円、教育費30億2817万4000円、公債費31億4995万

3000円となっています。

◇議案第2号

平成21年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について（可決）

予算規模は、事業勘定が歳入歳出それぞれ85億9000万円、施設勘定が歳

入歳出それぞれ7300万円とするものです。

事業勘定について、歳入の主なものは、国民健康保険税25億3951万6000円、国庫支出金24億6658万4000円、療養給付費等交付金2億3020万1000円、前期高齢者交付金7億9217万4000円、県支出金4億737万7000円、共同

075万5000円、繰入金710万1000円、繰越金450万円です。歳出の主なものは、総務費3829万8000円、医療費3147万4000円となっています。

◇議案第3号

平成21年度旭市老人保健特別会計予算の議決について（可決）

予算規模は、歳入歳出それぞれ6700万円です。歳入の主なものは、支払基金交付金107万1000円、繰越金6500万円です。

歳出の主なものは、医療諸費206万円、一般会計繰入金6000万円となっています。

◇議案第4号

平成21年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について（可決）

予算規模は、歳入歳出それぞれ3億9500万円です。

歳入の主なものは、保険料2億6894万9000円、繰入金1億1911万円です。

歳出の主なものは、総務費1107万1000円、広域連合納付金3億7774万8000円となっています。



平成21年第1回定例会開会日の様子

入歳出それぞれ7300万円とするものです。事業勘定について、歳入の主なものは、国民健康保険税25億3951万6000円、国庫支出金24億6658万4000円、療養給付費等交付金2億3020万1000円、前期高齢者交付金7億9217万4000円、県支出金4億737万7000円、共同事業交付金11億8827万1000円、繰入金6億7588万8000円、繰越金1億8000万1000円です。歳出の主なものは、総務費4145万5000円、保険給付費52億4554万1000円、後期高齢者支援金13億995万2000円、介護納付金5億5930万3000円、共同事業拠出金12億4709万2000円、保健事業費1億1825万6000円となっています。施設勘定について、歳入の主なものは、診療収入6

◇議案第5号

平成21年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について (可決)

予算規模は、歳入歳出それぞれ36億3800万円です。

歳入の主なものは、保険料5億8653万6000円、国庫支出金8億6899万6000円、支払基金交付金10億6000万7000円、県支出金5億3573万4000円、繰入金5億7530万8000円です。

歳出の主なものは、保険給付費34億9731万5000円、地域支援事業費8751万円となっています。

◇議案第6号

平成21年度旭市下水道事業特別会計予算の議決について (可決)

予算規模は、歳入歳出それぞれ12億7700万円です。

歳入の主なものは、使用料及び手数料5248万3000円、国庫支出金3億650万円、繰入金4億4524万2000円、繰越金1900万円、市債4億3500万円です。

歳出の主なものは、職員人件費等が7590万8000円、処理場維持管理費及び管渠工事費9億835万円、公債費2億8974万2000円となっています。

◇議案第7号

平成21年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決について (可決)

予算規模は、歳入歳出それぞれ5280万円です。

歳入の主なものは、使用料及び手数料が1449万円、繰入金が3228万7000円です。

歳出の主なものは、職員人件費等991万円、江ヶ崎及び琴田地区排水施設維持管理費1797万7000円、公債費2096万円、繰出金252万円となっています。

◇議案第8号

平成21年度旭市水道事業会計予算の議決について (可決)

年度末の給水件数を1万8682件、年間給水量を619万3530立方メートルと見込み、収益的収入及び支出において、収入に16億9040万5000円、支出に15億6827万6000円を計上し、当年度利益1億2212万9000円を予定しました。

また、資本的収入及び支出については、収入に3億9013万6000円、支出に9億2837万5000円を計上し、収支不足額5億3823万9000円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんするものです。

◇議案第9号

平成21年度旭市病院事業会計予算の議決について (可決)

病院本体の入院患者数を29万9650人、外来患者数を83万3256人と見込み、収益的収入及び支出において、収入に311億705万3000円、支出に310億717万1000円を計上し、当年度利益9988万2000円を予定しました。

また、資本的収入及び支出については、収入に61億8870万5000円、支出に91億2814万4000円を計上しています。支出のうち、主なものは病院再整備事業新本館建設工事です。収支不足額29億3943万9000円は、損益勘定留保資金及び建設改良積立金等で補てんするものです。

で補てんするものです。

◇議案第10号

平成21年度旭市国民宿舎事業会計予算の議決について (可決)

宿泊利用者を1万6000人、休憩利用者を5000人と見込み、収益的収入及び支出において、収入に2億3022

平成21年度会計別予算額一覧表

区 分		平成21年度 当初予算額①	平成20年度 当初予算額②	増 減 額 ①－② ③	増減率 ③／②
普通会計	一 般 会 計	255億5,000万円	255億8,000万円	△3,000万円	△0.1%
特別会計	国民健康保険事業 (事業勘定)	85億9,000万円	85億200万円	8,800万円	1.0%
	国民健康保険事業 (施設勘定)	7,300万円	6,910万円	390万円	5.6%
	老 人 保 健	6,700万円	4億8,900万円	△4億2,200万円	△86.3%
	後期高齢者医療	3億9,500万円	7億6,500万円	△3億7,000万円	△48.4%
	介護保険事業	36億3,800万円	33億7,549万4千円	2億6,250万6千円	7.8%
	下 水 道 事 業	12億7,700万円	8億800万円	4億6,900万円	58.0%
	農業集落排水事業	5,280万円	5,154万3千円	125万7千円	2.4%
企業会計	(収) 水 道 事 業	15億6,827万6千円	16億4,042万4千円	△7,214万8千円	△4.4%
	(資)	9億2,837万5千円	7億5,357万2千円	1億7,480万3千円	23.2%
	(収) 病 院 事 業	310億717万1千円	311億1,541万8千円	△1億824万7千円	△0.3%
	(資)	91億2,814万4千円	40億8,390万円	50億4,424万4千円	123.5%
	(収) 国民宿舎事業	2億3,730万1千円	1億8,690万8千円	5,039万3千円	27.0%
	(資)	467万5千円	1億7,954万円	△1億7,486万5千円	△97.4%
合 計		825億1,674万2千円	775億9,989万9千円	49億1,684万3千円	6.3%



新しくなった食彩の宿いいおかの客室

補正予算

(平成20年度)

◇議案第11号

平成20年度旭市一般会計補正予算の議決について
(可決)

万60000円、支出に2億3730万1000円を計上し、当年度欠損として707万5000円を予定しました。
また、資本的収入及び支出については、支出に467万5000円を計上しています。収支不足額467万5000円は、損益勘定留保資金等で補てんするものです。

第1回定例会の日程

(開会)

3月2日(月)

- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・議案の上程
- ・施政方針並びに提案理由の説明
- ・議案の補足説明

3月4日(水)

- ・議案の質疑
- ・常任委員会へ議案・陳情を付託

3月5日(木)

- ・市政に関する一般質問

3月9日(月)

- ・市政に関する一般質問

3月11日(水)

- ・公営企業常任委員会

3月12日(木)

- ・建設経済常任委員会

3月16日(月)

- ・文教福祉常任委員会

3月17日(火)

- ・総務常任委員会

3月23日(月)

- ・常任委員長の議案・陳情報告

〈質疑・討論・採決〉

◇追加日程

- ・議案の上程
- ・提案理由の説明

〈質疑・討論・採決〉

- ・事務報告

(閉会)

陳情の審査結果

第1回定例会では、陳情1件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区分	件名	審査結果
陳情第1号	ミニマムアクセス米の輸入停止を求める陳情	採択

◇議案第16号

平成20年度旭市水道事業会計補正予算の議決について
(可決)

企業債の借り換えをするにあたり、資本的収入に6億6940万円、資本的支出に6億7855万9000円を追加するものです。

◇議案第17号

平成20年度旭市病院事業会計補正予算の議決について
(可決)

主なものは、資本的収入で企業債から2億7400万円を減額し、資本的支出で建設改良費から4億5600万円を減額するものです。

◇議案第18号

平成20年度旭市国民宿舎事業会計補正予算の議決について
(可決)

事業収益に1609万2000円、事業費用に1195万円を追加するものです。

歳入歳出にそれぞれ10億4500万円を追加し、予算の総額を274億5100万円とするものであります。

歳入の主なものは、地方交付税2億9262万円、国庫支出金19億6866万4000円を増額し、繰入金1億9429万4000円、市債10億9080万円を減額するものです。

歳入の主なものは、総務費14億1191万9000円、民生費4041万円、農林水産業費2658万4000円、土木費3億4520万7000円を増額し、衛生費3480万5000円、消防費7億665万6000円、教育費4181万7000円、諸支出金3170万円を減額するものです。

◇議案第12号

平成20年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について
(可決)

事業勘定において歳入歳出にそれぞれ

1170万円を追加し、予算の総額を85億1370万円とするものです。

平成20年度旭市後期高齢者医療特別会計補正予算の議決について
(可決)

歳入歳出からそれぞれ6800万円を減額し、予算の総額を6億9700万円とするものです。

◇議案第14号

平成20年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について
(可決)

歳入歳出にそれぞれ3043万1000円を追加し、予算の総額を34億7420万4000円とするものです。

◇議案第15号

平成20年度旭市下水道事業特別会計補正予算の議決について
(可決)

繰越明許費として3500万円を設定するものです。

人 事

◇議案第33号

旭市副市長の選任につき同意を求めることについて

(同意)

現副市長鈴木正美氏の退任に伴い、後任の副市長を選任するにあたり、議会の同意を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。

増田 雅男氏(二)



4月1日に就任した増田新副市長

条例の制定・一部改正

◇議案第19号

旭市庁舎整備基金条例の制定について

(可決)

庁舎の整備については、総合計画及び行政改革アクションプラン等に位置付けられ、基金の設置についても同様である

ことから、今後、将来に向けた庁舎の検討をするに当たり、新庁舎の整備又は改修に必要な財源を確保するため基金を設置するものです。

◇議案第20号

旭市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について

(可決)

介護報酬の引き上げに伴う国の補填する交付金を積み立てるため、新たに基金を設置するものです。

◇議案第21号

旭市海上キャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定について

(可決)

当該施設を千葉県から無償譲渡を受けるに当たり、新たに条例を制定するものです。

◇議案第22号

旭市議会議員及び旭市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

(可決)

◇議案第23号

旭市税条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

個人市民税及び固定資産税の納期前納付の報奨金制度を段階的に廃止するものです。

◇議案第24号

旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

(可決)

農産物処理加工センターに米粉の製粉機を導入するにあたり、その使用料を定めるものです。

◇議案第25号

旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

第4期介護保険事業計画に基づき、介護保険料を改定するに当たり、所要の改正を行うものです。

◇議案第26号

旭市国民宿舎事業の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

国民宿舎の施設改修に合わせて、客室数等について改正するものです。

その他の議案

◇議案第27号

千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について(可決)

(可決)

浦安市・市川市病院組合及び香取市東庄町清掃組合が千葉県市町村総合事務組合から脱退することに伴い、同組合規約を改正するため、関係地方公共団体と協議するにあたり、あらかじめ議会の議決を求めるものです。

◇議案第28号～31号

指定管理者の指定について

(可決)

あさひ健康福祉センターの指定管理者に財団法人旭市福祉協会、海上ふれあいサポートセンターと飯岡福祉センターの指定管理者に社会福祉法人旭市社会福祉協議会、旭市福祉作業所の指定管理者に旭市手をつなぐ育成会をそれぞれ継続して指定するにあたり、議会の議決を求めるものです。

◇議案第32号

市道路線の認定、廃止及び変更について

(可決)

道路整備に伴い、新たに64路線を認定、8路線を廃止し、1路線を変更するものです。



農産物処理加工センター(萬歳地区)に設置された米粉製粉機

委員会提出議案

◆発議第1号

ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書の提出について (可決)

◆発議第2号

旭市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について (可決)

議会改革の一つとして、速記者を廃止することに伴い、所要の改正を行うものです。

主な議案質疑

議案第1号

Q 地方交付税の中で合併特例債あるいは臨時財政対策債の分がどのくらい見込まれるのか。

A 合併特例債分は1億8500万円程度入ると予想しています。臨時財政対策債の償還分は約4億3000万円程度見込まれます。

Q 収税事務費、委託料で公売物件鑑定委託料として50万8000円ほど予算化されているが、どのような処理をするのか。

A 差し押さえをする中で、担保権設定のない条件のものは不動産鑑定をしていく考えで、そのための予算措置です。

Q 財政が厳しい中で、用地を新規に確保して飯岡中学校の移転をする必要があるのか。

A 移転の理由については、工事中の安全性や騒音等による授業への影響、用地の確保、通学距離や建設後の交通の状況、建設費等を勘案して移転をしたいということです。移転の必要性ですが、飯岡中は、市道を挟んで東西に分かれて校舎と運動場があり改築の時期に解消していくのがいいたろう。もう一つとして、飯岡中も避難場所に指定されていますが、50センチメートル以内の津波が来ると予想されており、避難場所がそういった所から解消できればとの思いもあります。

生徒の皆さんには、長い間運動場が使えなくなるなど、非常に不便な中で授業をしなければならぬことを考えると、別の用地に建設ができて、できた所へ移転することであれば一番良いわけですから、そのように考えています。

Q 長熊釣堀センターの歳入見込みである商工使用料1380万円の財源と稼働日はどのようにするのか。また、指定管理者についての考え方について伺いたい。

A 長熊釣堀センターは、リニューアルをしますので、平成21年度は試行として運営を計画しています。それに伴う使用料収入の積算は、開場日を320日、1日当たり40人と考えています。料金が1000円ですので1280万円。また別に、釣りの例会、大会等について

も100万円程度を見込んでいます。

開場は、従来の週3日を21年度は週6日としたいと思っています。指定管理者については、今後の施設の効率的・効果的な管理運営について検討する時期を21年度と考えています。21年度の管理は、従来と変わらない市の直営管理と考えています。当然22年度には指定管理者に移行することを考えています。

Q 行政改革アクションプランについて、21年度は最終年度になります。行政改革検討委員会への報告あるいは意見の聴取、また行政としての検証、評価がどのようにされたのか。

A アクションプランは平成17年度から21年度までの5年間を実施期間としまして、これまでの4年間、本プランに掲げた改革事項について着実に推進してきたと考えています。今までの実績として、定員適正化計画に基づく職員数の削減、保育所の指定管理者制度の導入など、一定以上の成果を上げていると考えています。最終的な検証は来年度になります。その中で、平成22年度から実施期間とする新たなプランについての策定に取り組んでいきたいと考えています。

議案第8号

Q 新たに旭市水道お客様センターの業務を委託する理由とメリットはどのようにお考えか。

A 水道事業においては、経営の健全化及び経営効率化を図るため、今後5年間の経営指針として昨年2月に旭



利用者のサービス向上を目的に設置された水道お客様センター

市水道事業中期計画を策定し、民間の経営手法導入の取り組みとして、開閉栓業務及び料金収納業務、窓口受付業務の包括的な民間委託の実施を目標としました。メリットは、民間的な経営手法を取り入れることにより、営業時間の延長やインターネット受付など、利用者であるお客様のサービスが向上し、併せて、企業職員を4人削減し、年額437万円の経費削減の効果が見込まれます。

議案第9号

Q 一時借入金、20年度は10億円、今年は限度額が50億円と大幅に引き

議会改革について

市民により開かれた議会の実現に向けて昨年、設置された議会改革検討委員会の答申・報告を受けて、本年3月2日の全員協議会で、議会改革の一つである情報公開関連の委員会会議録及び、議会生中継（本会議）をインターネット配信することを決定した。

配信については、委員会会議録を本年第1回定例会分の会議録から掲載し、議会生中継は、第2回定例会の本会議から実施することとした。

また、答申項目である、本会議の議事の記録方法については、録音機で対応できることから経費削減の面と併せて、本年第1回定例会において、議員発議により会議規則の一部改正案を上程し可決され、速記法の速記から録音機による録音に改められた。

今後は、議員定数等について、協議・検討していくことになっている。

上げられました。これは工事費の支払いに伴う企業債借入れのためのつなぎ資金の借入れだと思うが、21年度の企業債の借入額は幾らか。また、工事費の支払い額は幾らか。

A 工事費は、21年度分として61億7801万5000円です。起債は、来年度の予定で、新本館の工事に54億7000万円、改修工事の設計料として3000万円、合わせて55億円です。

工事費の支払い額については、工事の進捗と前払い、中間払い等を考えると、

12月に25億円前後、年度末にかけて場合によっては5億円くらいで、30億円から35億円くらいと思っています。

Q 給与費については、病院本体の職員に係るもので、派遣職員70名を臨時職員に移行した影響について説明がありました。派遣職員に対して臨時職員のような議論がされたのか。

A 派遣に切り替えても、業種によっては3年しか派遣継続できない業務があります。継続できない業務について検討し、一つは委託に切り替えることができる業務は委託に切り替え、継続できる業務は継続をしていく。看護助手のような、病院が直接行わなければいけない業務については職員として採用しなければいけないので、臨時職員として今募集をしている状況です。

議案第11号

Q 定額給付金給付事業について、国で決まった場合にどのように取り組むのか。申請の期間、給付

の締め切りが当然考えられるが、当市では給付の締め切りをどのように考えているのか。

A 2月10日に定額給付金等実施本部を立ち上げ、態勢を整えました。今回補正で、4月末にプレミアム付きの共通商品券が発行される予定です。この時期に合わせて定額給付金を支給することができれば、地元で使っていただけで経済効果が高まるのではないかと、一つの目標に置いて作業を進めています。

スケジュールですが、3月末に市内の全世帯に申請書を郵送し4月上旬から受け付けを開始したい。その後、審査や交付決定の手続き等あり、金融機関へ払い込みの手続きをし、実際に市民に入るのが4月末頃ということと今進めています。

国は6か月と示していますので、これを当てはめると、10月上旬が一つの目安になると考えています。

議案第28号

Q 指定管理者制度を導入して事業を進めてきた内容について、行政としてはどのような評価をされてきたのか。

A あさひ健康福祉センターの指定管理に関する旭市福祉協会の評価について、18年度に指定管理を任せてからこの3月で3年経過します。年度ごとに提出させている実績報告から適正に管理運営をしていると市としては評価しています。

最終的に実績報告によって予算を下回る場合においては精算し、指定管理料そ

のものをかかった分だけしか支払いしない形をとっていますので、その行為が評価と同じ行為だろうと判断しているところでは。

議案第31号

Q これまで旭市手をつなぐ育成会にゆだねてきました指定管理者について、評価はどのようなであったのか。

A 旭市福祉作業所の指定管理者の旭市手をつなぐ育成会は、この施設で障害を持ったお子さん方に対する、いろいろな活動をしており、育成会からすれば、施設を委託によって管理し、また会のいろいろな活動にもそれらは繋がってきますので、極めて良好な形で委託できていると評価しています。



旭市手をつなぐ育成会が運営する旭市福祉作業所

【第1回定例会】

一般質問

市政に関する一般質問は3月5・9日に行われ、11人の議員が登壇しました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

経営形態は現状のまま

中央病院

公設民営の目処について伺います。

A

病院内が混乱するようではこういった問題に取り組むわけにはいきませんので、全く目処はついていません。この問題は議会での議決をいただかなければならない問題ですから、しっかりと議会と相談をしながら検討させていただきたい。当分はそのままであろうと思います。

再整備終了後も公設公営か

Q

病院再整備計画で示された事業性では、一時的な単年度収支での赤字は出るが、平成37年までは黒字経営を維持することはできると言われている。将来、再整備事業の終了後10年間くらい

は公設公営で、今のまま維持することができないのか。

A

今のままでやっていきたいと思っています。ただ、病院が変わらなくても社会がどんどん動いていますので、いずれ社会に合わせなければいけないということはあると思います。

新病棟建設の入札結果は

Q

新病棟建設の入札経過と結果、落札率について伺います。

A

建築工事は、奥村・阿部特定建設工事共同企業体が落札、契約額は税込みで85億8900万円、落札率は80・001%です。

電気設備工事は、日本電設・ワイデス特定建設工事共同企業体が落札、契約額は税込みで25億8300万円、落札率は81・366%です。

給排水衛生設備工事は、斎久・京葉工管特定建設工事共同企業体が落札、契約額は税込みで21億円、落札率は99・92%



新本館建設工事の状況（4月27日撮影）

9%です。

空調設備工事は、朝日・芝特定建設工事共同企業体が落札、契約額は税込みで28億8750万円、落札率は96・743%です。

排水の下水道への接続時期は

Q

下水道との関係はどのようになっているか。

A

一旦は既存浄化槽へ接続して、下水道の供用開始後に切り換えを行う予定です。

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。

◆林七巳議員

- 1 農業問題について
- 2 教育問題について

◆高橋利彦議員

- 1 病院問題について
- 2 財政について
- 3 裁判問題について（市・病院）
- 4 公園問題について
- 5 人事について

◆島田和雄議員

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 雇用について

- 3 保護観察対象者の就労支援について
- 4 米の力再発見事業について
- 5 長寿祝金支給事業について

◆嶋田哲純議員

- 1 飯岡海上アクセス道路について
- 2 海上中学校にサッカー部を

◆滑川公英議員

- 1 土地改良事業について
- 2 中央病院事業について
- 3 ビックプロジェクトの飯岡中学校の移転新築、給食センター移転新築について

- 4 旭市主催の各祭りの総予算と補助金について
- 5 保育所について

派遣職員を臨時職員に変更する理由は

Q 派遣職員を臨時職員に雇用の変更する理由について伺います。

A 平成18年4月から人材派遣に切り換えたが、当時、多数の臨時職員が、法の定める期間を超えて任用されていました。その解消を図るための方策として導入されたものです。

人材派遣も業種によっては3年を超えては継続できないことになっており、継続できない業務を委託に切り換え可能か検討し、可能な業務は委託に移行することになりました。

看護助手等の業務はどうしても病院が直接行わなければいけない業務であり、臨時職員として改めて募集をしている状況です。少なくとも法で認められた範囲の中で、今後どうするかは十分検討していきたいと思っています。そのため、1年を通して臨時職員ということが無いようにする形で検討しなければいけないと思っています。

病院の対応は矛盾していないか

Q 病院では臨時職員は問題があつて雇用できないという中で、あえて臨時職員を人材派遣会社へ渡して派遣してもらったが、今度は臨時職員として雇用しなければならぬ。まるっきり矛盾していると思うが。

A 地方公務員法上の臨時的な任用で半年、また、その仕事が必要であれば、1回の更新で最長1年という任用の仕方もあります。今回、臨時職員として任用しても、1年を超えない範囲で次の対応を考えなければいけないということです。これで特に問題はないわけですから、ご理解を賜りたいと思います。

20年度の決算見込みは

Q 今年度の決算見込みと21年度の決算予測について。また、未処分利益額と留保財源額について想定している額をお示しいただきたい。

A 繰越未処分利益剰余金が12億9585万9823円。留保財源額は3月末を終了した時点で、全部で78億3097万9016円持っていることになります。

決算予想で経常利益ですが、2億620万円の予定になっています。当年度で純利益が2億279万6000円です。

利用状況は

滝郷診療所

Q 利用状況はどのようになっているのか。また、基金は幾らぐらいあるのか。

A 1か月当たりの利用状況は、650名程度となつています。基金の残高は、20年度末で4020万

円ほどと見込んでいます。

施設の改築・建て替えの考えは

Q 耐震補強あるいは改築するより、建て替えたほうがよいと思うが。

A 現在の旭市総合計画において、滝郷診療所の施設・体制について検討することになっており、総合的に検討して滝郷診療所のあり方について策定していきます。一番の問題は、医師の確保ですが、中央病院と相談しながら、前向きに進めるように努力したいと思っています。



建て替え等が検討されている滝郷診療所

◆木内欽市議員

- 1 消防、防災について
- 2 中央病院について
- 3 滝郷診療所について

◆伊藤房代議員

- 1 高齢者困りごと支援事業について
- 2 地球温暖化現象に対するエコについて

◆日下昭治議員

- 1 民生委員の役割について
- 2 出産育児一時金について
- 3 子育て応援特別手当について

◆伊藤保議員

- 1 入札及び工事の施工等について
- 2 環境シンフォニック問題について
- 3 中央病院経営形態について

◆向後悦世議員

- 1 ヒブワクチン予防接種について
- 2 地上デジタル放送について
- 3 課の統廃合について
- 4 定額給付金について
- 5 プレミアム商品券について

◆神子功議員

- 1 行政改革の推進について
- 2 都市計画・都市マスタープランについて
- 3 旭駅前線・駅前広場について
- 4 中央病院について
- 5 育英資金について

- 1 旭駅前線・駅前広場について
- 2 中央病院について
- 3 育英資金について

ヒブワクチン 予防接種への助成は

保健

Q ヒブワクチンについて、全国の自治体で予防接種の補助をしているのはどのくらいあるのか。また、市では助成することを考えているのか。

A 現在一部助成しているのが全国で5自治体、4月より新たに5自治体が助成を開始するようです。県内では助成をしている市町村はありません。助成については、国・県の補助が無いと市単独でやるのは今のところ難しいと考えられています。

解説 ヒブワクチン

乳幼児の細菌性髄膜炎を引き起こすインフルエンザ菌b型（Hib（ヒブ））の予防ワクチン。子どもの細菌性髄膜炎の原因菌は約6割がヒブであり、日本でも2008年12月より任意接種が可能。

滞納者への出産育児一時金支給方法は

Q 現在、国保税の滞納があると、その分を差し引いた額で支給される場合もあると聞いていますが、今後、どのように市としては考えていくのか。

A 納税の公平性という観点から、現状、国保税に未納がある方については窓口で支払うという形で、その時に滞納額に對し、全額もしくは一部について充当していただくように指導している

ところです。

長寿祝金支給事業の見直しを検討

福祉

Q 事業の経過、今後の実施方法について伺います。

A 平成20年度、支給人員が4641人、総額2669万5000円でした。平成21年度は、約5000人に支給する予定で、2877万円を予算計上しています。

今後は、該当者が年々増加する傾向にあり、高齢者の福祉対策は非常に大切ですが、節目の年齢に至った方を支給対象とすることなど、高齢者の方々のご理解をいただきながら、事業内容の見直しを検討していきたいと思います。

高齢者困りごと支援事業を実施できないか

Q 高齢者が安心して生活できるように困りごとをお手伝いするサービスはできないか。無料で頼める、お手伝いをしてくれるサポーターを募集してアルバイト的な雇用もできるのではないかと。

A ひとり暮らしの高齢者、または高齢者だけの世帯では、ちよつとしたことでも困ることが多くなると思いますが、市では、公的なサービスはシルバー人材センターなどの利用だけで十分だとももちろん考えていませんが、このよう

なサービスは、近所の方々や民生委員さんなどの地域の力で解決できるよう、社協や地区社協などを通してお願いし、また、このためにもコミュニティの育成などを推進したいと考えています。

保育所待機児童の現状は

Q 保育所全体として定員枠は十分であるかと認識しているが、何か所か待機児童がおります。5月枠、10月枠ですべて解消されるのか。

A 共和、干潟保育所、おうめい保育園、この3施設を希望している40名は、4月1日現在で入所ができませんでしたので、定員の認可が25%増しでお預かりできる5月まで待つていただき、すべて希望とおりに入所できる状況となっています。

飯岡中学校は移転整備するのか

教育

Q 飯岡中学校の改築について、移転整備なのか、現状場所利用としての建て替えなのか、完了の目標年次と併せて伺います。

A 平成22年度から24年度までの3か年事業で全面改築をする予定です。建築場所は、いいおかふれあいスポーツ公園の一部と飯岡西部土地改良事業の非農用地として計画されている土地の一部を利用したいと考えています。

学力テストの結果は



飯岡中学校舎と野球グラウンドなどを分断する市道

Q 旭市の学校学力テストの結果は全国でどのような位置にあるのか。

A 学習状況テストといい、学力と生活状況（家庭での生活習慣）について聞き、それとの相関等を求めています。

A問題・B問題とあり、Aは基本的なものについて、Bは応用力や活用力等についてです。Aは、ほぼ平均。Bはやや落ちるという状況です。

新給食センターは海上中北側へ計画

Q 用地選定の理由と経過について、詳しく伺いたい。



老朽化した第二（飯岡・海上）給食センター

A 老朽化した第二、第三給食センターを統廃合し、新たなセンターを建設するための用地選定については、平成20年4月より建設検討委員会を組織し検討してきました。法令等の規制や周辺の環境・衛生面、給食の配送時間、電気・水道・排水路の整備等、諸条件を考慮し、海上中跡地も含め、検討した結果、海上中学校北側を最適地として選定したものです。

飯岡西部土地改良事業の進捗状況は

土地改良

Q 飯岡西部土地改良事業の進み具合は。

A 現在、県営の土地改良事業実施に向けて県にお願いしており、平成22年4月の新規採択に向けて頑張っているところです。今後は事業実施に不可欠な工区を本年5月の設立に向け、各種準備を進めています。

同意率は91%

Q 現在、どのくらい同意数があるのか。

A 現在の同意率は91%と聞いています。区域内の耕作者は365名、その中の331名に同意をいただいているところです。

海上地区の排水問題は

Q 整理をするには、海上地区の排水問題が一番ネックになると思うが、どのように進んでいるのか。

A 平成20年の予算で各種事業計画を策定しています。排水についても、いろいろなコンサルにかけ、一番効率的で経費的にも費用対効果のよい方向を現在、検討しているところです。

耕地整理事業の補助率は

Q 耕地整理事業がただでできると推進しているように聞いていますが、どのようなことなのか。

A 広域農業基盤緊急整備促進事業の区域では、国の補助が50%、県の補助が35%、市の補助が10%、計95%で現在、事業を実施しています。これに高度経営体集積促進事業、最大5%の補助を活用し、100%の支援という仕組み、これかと思っています。

住宅用太陽光発電への補助は

環境

Q 21年度、国の予算で住宅用太陽光発電への補助金創設201億円となつています。補助額は1家庭当たり21万円から25万円となつています。旭市はどのくらいの家庭に実施するか、その計画は。

A 国の補助制度は、住宅用太陽光発電システムを導入した場合、最大出力1キロワット当たり7万円、限度額として70万円となつています。県内の状況ですが、9市が独自の補助をしています。本市では現在、市独自の補助制度は無いので、国の補助制度を利用していただきたいと考えています。今後については近隣等の動向を見ながら、市としても対応を考えていきたい。

広域ごみ処理施設用地選定の経緯は

Q 2月1日号の広報に、広域ごみ処理施設の用地選定調査が載っています。6か所に絞り込んだ経緯をお伺いします。

A 周辺世帯数や水道水源等を考慮し、組合議会議員に諮った上で6地区を調査対象箇所と選定し、建設が可能かどうかの調査を現在やっているところです。

調査後のスケジュールは

Q 調査を実施した後のスケジュールについて。

A 環境条件、社会条件、排水規制、水道水源、立地基準等候補予定地の施設用地としての適正を比較検討した一覧表を作成することになっています。場所が決まってから最低でも7年ぐらひはかかると思っています。

旭駅前東側に 通路を整備

まちづくり

Q 駅前東側について、どのような利用を考えているのか。

A 駅への送迎車両の待機場所、また、駅への利便性を図るため駅前東側市道への通り抜けができるような通路を整備します。

10月までに旭駅トイレの整備を

Q 千葉県では今年10月に、国体のリハースル大会があります。旭駅のトイレを何とか整備してほしい。JRを当てにせず、市長の決断でトイレの設置

ができないか。

A 駅のほうと、いろいろ折衝していますが、駅をあまり当てにはできない状況です。あのトイレで国体のお客さんを迎えるのは少し恥ずかしいというのは率直な思いですから、前向きに検討したいと思います。

都市計画マスタープラン

Q 都市計画マスタープランの策定に向けて、どのような検討が行われているのか。

A 一つ目は都市計画区域の見直し、二つ目は地域地区の検討（用途地域等の検討）、三つ目は都市施設・都市計画道路や公園等の検討、四つ目は用途地域で用途の無指定地域（白地地域）の対応への検討です。

都市計画区域の拡大の考えは

Q 現在、都市計画区域は旭地区のみですが、飯岡・海上・干潟地区への都市計画区域の拡大について、どのように考えているのか。

A 区域の一体性を考え、市内全域の拡大の方向性を考えています。

旭地区未整備の対応は

Q 都市計画区域である旭地区において、未整備の都市計画道路や公園で整備が現実無理と思われるところに

いて、どのように考えているのか。

A 見直しについて十分柔軟に対応できるような考えていきたいと思っています。

袋公園整備は 来年度で終了予定

公園

Q 袋公園は継続して整備を続けているが、将来的にどこまで広げられるか。

A 計画面積11・7ヘクタールを整備しています。残りは約0・9ヘクタール、22年度で終了する予定です。



じゃぶじゃぶ池などが整備された袋公園の状況

プレミアム商品券 有効期限は6か月

商業

Q プレミアム商品券について、どのように取り組むのか。また、今までも市単独でやっていたプレミアム商品券と一緒に使えると理解してよいのか。

A 商品券の有効期限は6か月程度を予定し、早期の使用による地域経済の活性化と消費拡大に一定の効果が期待できるものと考えています。また、今までのプレミアム商品券も使えると考えています。

市内の解雇者数は

雇用問題

Q 旭市の雇用の現状について、市が把握している市内の解雇者数について伺います。

A 雇用については、国の事業ですの、銚子公共職業安定所（ハローワーク）からの情報ですが、銚子公共職業安定所管内の雇い止めについては、該当はないということでした。

保護観察対象者への就労支援に協力できないか

Q 保護観察対象者の就労支援について、市にも協力をもらえればと考えるが、いかがでしょうか。

A 市が直接かわかることは制度上できませんので、保護司の皆様方の活動で支援できる部分があれば、保護司会と協議のもとで対応したいと考えています。

火災報知器の 普及促進は

消防

Q 火災報知器の設置を義務化したのが、一般にはあまり普及していないようです。普及を図るために何かお考えは。補助金を出せるか出せないかまで含めて、消防委員会と前向きに検討していきたいと思っています。

公債費比率の 県内順位は

財政

Q 公債費比率並びに県内での位置づけ、また近隣での位置づけについて伺います。

A 実質公債費比率、平成19年度は19・2%。県内の順位は56市町村中で高いほうから4番目となっています。近隣の状況ですが、匝瑳市が16・0%、香取市が12・6%、銚子市が12・2%となっています。



職員給与の適正化への取り組みは

行政改革

Q 職員給与の適正化にどのように取り組んできたのかお伺いします。

A 国・県に準じ、給与水準を平均4・8%引き下げました。また、従前の調整手当を廃止、消防従事職員の特殊勤務手当の見直しを行い、時間外勤務の命令を原則1日3時間以内、1か月30時間以内とし、時間外勤務の抑制並びに職員の健康維持を考えました。

職員の人材育成は

Q 職員の人材育成について、どのように考え、対応してきたか。

A 職場における専門的知識・技術を持つ上司が、身近なところで部下に対して反復継続して指導・助言ができる職場内研修。また、若手職員による自主研究グループ「まちづくり研究会」、県への職員の派遣、また東総地区広域市町村圏事務組合・千葉県自治研修センター・市町村アカデミー等にも積極的に派遣し、各育成段階での研修や専門研修を行っています。

課の統廃合は

Q 経費削減、仕事の効率化などの対策にどのように取り組んでいくのか。

か。

A 今後、行政需要の増減等を見据えながら、適正な組織及び人員の配置に努め、経費の削減、仕事の効率化を図り、行政改革の一環として進めていきたいと考えています。

市がかかわっている裁判件数は

裁判

Q 現在、市並びに病院がかかわっている裁判の件数について伺います。

A 現在、市が提起されている裁判は1件。病院の診療行為に関する裁判は4件です。

電子入札の開始時期は

入札

Q 21年より電子入札を取り入れるべく予算化されましたが、本年度、年度当初からスタートできるのか、あるいは年度途中になるのか。

A 電子入札については、年度当初はまだ若干無理があり、21年度前半で準備、後半に試行を繰り返しながら始めたい。その際には全体的な業者への説明会や周知期間等が必要になるので、できるだけ早くやりたいと思うが、多分後半になるのではないかと考えています。

高齢者等への受信説明会は

地上デジタル放送

Q 高齢者・障害者の方への受信説明会にどのように取り組むのか。

A 市としても住民の方々に混乱が生じないように広報等を通じて相談窓口の紹介等をしているところです。

市建物の受信障害対策は

Q 市所有の建物の影響による受信障害対策は行っているのか。

A 一般的にデジタル放送のほうがアナログ放送よりも障害に強いと聞いているので、中継局の開局後の状況を見守りたいと考えています。

地デジ詐欺、悪徳商法への対処は

Q 全国で地デジ詐欺や関連した悪徳商法が出ているが、これらへの周知徹底にどのように取り組むのか。

A 広報等を活用して、住民に注意を促すとともに、関係団体・警察等とも連携を図り、対応していきたいと考えています。

飯岡海上アクセス道路のルートは

道路



アクセス道の起点となる国道交差点付近

Q 飯岡海上アクセス道路の計画は、現在どの程度まで進んでいるのか。またルートはどのようになるのか。

A まず蛇園、広原の排水を最優先に考えたい。そのため、この道路を基幹事業として、提案事業で排水路を造るのがいいのではないかと考えています。この排水問題については、飯岡西部の土地改良事業とも絡むので十分検討しながら進めているところで、できるだけ早い段階でつなげていきたいと考えています。ルートについては、恵天堂の入り口のバイパスから入り、海上の野球場、還来寺を通して、できれば消防署のところへつなげたいと考えています。

常任委員会の審査

公営企業常任委員会

3月11日(水)午前10時より本委員会が開催され、付託された7議案の審査を行いました。

議案第8号平成21年度旭市水道事業会計予算の議決についての審査では、「水道お客様センター業務委託について、業務委託料の積算根拠と委託に伴い職員を4人減らしたが、その分よりも委託料が高くなっているのはなぜか。」との質疑があり「積算根拠については、直接支払いや昨年10月から始めたコンビ二収納の状況、臨時やパートを含めた人件費や運搬費等を積算したものである。委託料は、21年度だけ見ると高いが、5年間継続で年額委託料は同額となり、委託の方が400万円弱節減できることになる。」との答弁がありました。

議案第9号平成21年度旭市病院事業会計予算の議決についての審査では、「新年度から業務が臨時職員、委託、派遣に分かれるとのことであるが、業務形態を変えることで、どの程度の差が生じるのか。」との質疑があり「臨時職員は、55人程度で1億3000万円、委託は、調理、配膳業務で9600万円、派遣は、63人で1億8000万円を見込んでおり、うち20人は新規業務として、医師の事務補助にかかる経費を6000万円見込んで



中央病院会議室で新本館建設工事状況の説明を受ける公営企業常任委員

でいる。21年度は、4億6000万円、当初の3億2000万円から少し上がっているが、うち6000万円は新規分となる。」との答弁がありました。

議案第10号平成21年度旭市国民宿舎事業会計予算の議決についての審査では、「休憩で、1日あたり13人という予定は少ないのではないか。また、グラントオーブンしてからの宿泊の状況はどうか。」との質疑があり「休憩については、バイキングやレストランでのランチ利用を除き、団体で単価1500円以上の利用を前提にしている。団体の会食が減少していること、外食産業の落ち込みなどから、年間5000人を予定した。宿泊者

数は、12月は1000人、1月は1133人、2月は856人で、3月は1384人の予約が入っている。」との答弁がありました。

その他、質疑を尽くし慎重審査の結果、7議案とも全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、1月に着工した旭中央病院新本館建設工事及び滝郷診療所施設の状況等を視察しました。

建設経済常任委員会

3月12日(木)午前10時より本委員会が開催され、付託された7議案の審査を行いました。

議案第1号平成21年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「農林水産業費の遊休農地解消対策事業補助金について、遊休農地を解消するのは難しいが、どのようにしていくのか。また、減反政策に協力していない方も受けられるのか。」との質疑があり「遊休農地の解消は、国の政策の中でも重要な課題となっているところで、補助金は10アールあたり2万5000円で200アールを見込んでいる。当市の遊休農地は530町歩あり、その活用に関するアンケートから、貸したい農家、借りたい農家の調査結果があるので、それらを活用しながら農地を借りる方に対して支援していくことを考えている。また、生産調整等の要件については、遊休農地のフル活用という国の指

導もあり、減反要件は、入れていない。」との答弁がありました。

また、「あさひ健康パーク維持管理費について、年間の通常の管理費は、どのくらいか。また、休憩施設の工事は、どんなものを設置するのか。」との質疑では、「管理費は、約1400万円、うち人件費が約850万円である。その他、芝の管理等に945万円がかかる。収入は、入場者数を2万人とし、981万2500円を見込んでいる。稼動から本年2月現在までの状況は、利用者数が1万8388人で、収入は947万6650円である。また、休憩施設は、管理棟に休憩や食事する場所がないという要望から、練習広場に、幅約5・4m、長さ14mで、面積約80㎡のウッド造りの建物を考えている。」との答弁がありました。

議案第11号平成20年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「農業費の経営構造対策事業について、繰越明許した理由は何か。」との質疑があり「国庫補助事業で、平成19年から21年度までの継続事業であり、平成20年度分は、萬力Ⅱ期地区のビニールハウス建築工事が進められていたが、入札等の遅れにより期日を変更するもので、繰越額は、8406万6000円である。この額の以内で3月末までに、より多くの工事ができるようにしたいと考えている。」との答弁がありました。

その他、質疑を尽くし慎重審査の結果、

7 議案とも全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、陳情第1号ミニマムアクセス米の輸入停止を求める陳情についての審査では、全員賛成で、採択と決しました。

委員会の審査終了後、経営体育成基盤整備事業Ⅱ期ハウス施設整備と長熊スポーツ公園、旭袋公園整備工事の状況並びにあさひ健康パークの運営状況を視察しました。

文教福祉常任委員会

3月16日(月)午前10時より本委員会が開催され、付託された16議案の審査を行いました。

議案第1号平成21年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事



文教福祉常任委員会の様子

項についての審査では、「旭市総合計画を基本に予算組みがなされていると思うが、特に保育サービスの充実の中の乳幼児情操教育推進事業は、本予算に反映されているのか。」との質疑があり「市の基本的な方策は、総合計画を基に事業化しているが、一時保育や病後児保育、延長保育等を主体に進めており、その結果、情操教育に対するソフトの部分については、対応できていない。今後、保育所の現場と十分知恵を出し合って、よい事業が組めるよう努力していきたい。」との答弁がありました。

また、「教育費の飯岡中学校改築事業について、移転場所に、ふれあいスポーツ公園の一部と、認可が得られるか分からない土地改良での非農用地を活用することであるが、どんな見解で進めようとしているのか。」との質疑では、「移転については、地元の飯岡中学校建設委員会より、飯岡支所の西側に移転を希望する要望書が提出されている。現在の場所での改築は、校舎と運動場が道路で分断されていること、必要な用地の確保など、困難であると判断している。一方で、三川、飯岡西部の土地改良事業の中で、非農用地を利用することは、一つの方法と考えており、その非農用地が利用できれば、ふれあいスポーツ公園用地3万3000㎡のうち、1万5000㎡ほどを合わせて、学校用地に利用したいと考えている。」との答弁がありました。

その他、質疑を尽くし慎重審査の結果、議案第1号については賛成多数で、その

ほかの議案については、全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

総務常任委員会

3月17日(火)午前10時より本委員会が開催され、付託された6議案の審査を行いました。

議案第1号平成21年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「公債費について、通常、元金が増えれば利息も増えると考え、前年度と比較して利子が減っているのは、どういう状況か。また、今後も少なめに推移するのか。」との質疑があり「利子が減った理由は、国よりも民間資金の割り当てが多いので、元金均等の部分や、繰上償還をしていること、また、当初予算よりも起債の額が減ったことなどの要素が合わさり、昨年より減っている状況である。繰上償還は、平成19年度からの3年間に限定された特別な制度であること、防災行政無線のような落札率が48%ということで借入れが減るなどの特別な理由があったが、通常ペースでは、金利が安く推移しているのので、当面、このまま推移するのではないかと思われる。」との答弁がありました。

議案第11号平成20年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「公有財産購入費について、市が、雇用促進住宅を購入することであるが、これに至つ

た経緯はなにか。また、収支の見通しはどうか。」との質疑があり「経緯については、平成13年に国で特殊法人等の合理化計画が打ち出され、平成23年度までに、全部廃止する方向が決まり、平成17年頃から、各市町村等に購入の意向が打診された。平成20年2月に、全国の雇用促進住宅の半数程度を1年前倒しで、平成22年度に廃止したいという意向が伝えられた。また、現在、住んでいる方からも、居住の確保を求める要望等があり、内部で検討していたところ、国の生活対策臨時交付金を使えることになり今回の3月補正で予算化し、払い下げの意向を伝える状況である。取得額は、2棟で4000万円を計上しているが、実際は、これより低い額で考えている。収支は、家賃収入が2000万円程度あり、維持管理費についても、住んでいる方から共益費として250万から300万程度入ってくる。また、平成17年に、大規模改修を行っており、細々した修繕は出てくるが、現状では、足りると考えている。今後、将来の改修等に備えた部分も含め十分検討していきたいと考えている。」との答弁がありました。

議案第19号旭市庁舎整備基金条例の制定についての審査では、「新庁舎建設計画の際には、市民の代表による策定委員会等を立ち上げて意見を聞くことになっているが、委員会はできたのか。」との質疑があり「内部で検討中で、行政改革という命題があり、また、経費節減という中で庁舎改築の委員会をつくって議論

議会のうごき

平成19年12月5日以降の議会のうごき

する時期ではないとのことから、委員会等はつくっていない。新しく建てる、改修するにしても、基金を積み始めておかないと資金が間に合わないので、財政に影響のない範囲で、とりあえず3億円を積み、積立ての道を開くということで考えている。」との答弁がありました。

その他、質疑を尽くし慎重審査の結果、6議案とも全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、千葉県から無償譲渡を受け4月から管理運営する海上キャンプ場、独立行政法人雇用・能力開発機構から21年度に譲渡を受ける予定の雇用促進住宅旭宿舍並びに滝郷診療所の施設状況等を視察しました。



購入予定の雇用促進住宅を視察する総務常任委員会委員

〈12月〉

- 旭市ゲートボール協会歳末チャリティーゲートボール親善大会
- 旭中央病院附属看護専門学校46回生戴帽式
- 第8回スターライト・ファンタジー lumiネーションコンテスト表彰式
- 平成20年12月東総広域水道企業団議会定例会
- 旭市消防団歳末警戒団員に対する激励

〈1月〉

- 平成21年旭市消防出初式
- 平成21年旭市成人式
- 財団法人旭市福祉協会理事会
- 千葉県市議会議長会研修会
- 総合病院国保旭中央病院新本館建設工事起工式
- 〈2月〉
- 第20回旭市飯岡しおさいマラソン大会開会式
- 平成20年度千葉県自治体病院経営都市議会協議会
- 総合病院国保旭中央病院の経営形態に関する検討委員会
- 第4回旭市環境衛生大会
- 平成20年度千葉県北総地区市議会正副議長会臨時総会
- 社団法人旭市シルバー人材センター設立10周年記念式典

編集後記

旭中央病院の再整備も始まり、定額給付金などを含む2008年度補正予算、2009年度予算案など、2009年度第1回定例議会で可決され成立しました。

議会では、様々な議論がされます。今回、議会改革で、質疑、討論の通告、一般質問の通告がファックスやメールで出来るようになり、6月の議会から使用する議員もいるでしょう。議員定数の問題も課題となっており、この12月の改選に向けて議論がされています。

今年は、桜、桃などの花がいつせいに咲き誇っております。桜梅桃李の人生という言葉がありますが、各議員の持ち味がこの議会だよりに反映できたらいいなと考えている一人です。残すところ任期もあと半年となりましたが、市民の皆様と距離のない議会だよりになるよう努めてまいります。

（編集委員 伊藤 保）

旭市議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 林 七巳 |
| 副委員長 | 伊藤 房代 |
| 委員 | 木内 欽市 |
| 委員 | 嶋田 哲純 |
| 委員 | 伊藤 保 |

